

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第118号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年5月24日 09時40分ごろ	
発生場所	京浜港横浜第5区 神奈川県横浜市本牧沖灯浮標から真方位130°0.5海里付近 (概位 北緯35°24.8′ 東経139°42.1′)	
事故等調査の経過	平成22年7月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 海洋観測艦 <small>パスファインダー</small> PATHFINDER（アメリカ合衆国）、4,762トン 不明、アメリカ合衆国</p> <p>B 引船 第六東亜丸、166トン 133453、東京汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 艦長A、免状不詳</p> <p>B 船長A、五級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船尾部ブルワーク及び舷門に曲損</p> <p>B 船首部に擦過痕</p>	
事故等の経過	<p>A船は、水先人を乗船させるために京浜港横浜第5区で仮泊中、B船は、船長ほか3人が乗り組み、A船において水先する水先人を乗せ、A船の右舷側に接舷して同水先人をA船に移乗させた。</p> <p>B船は、その後、A船から離れる際、平成22年5月24日09時40分ごろ、A船の右舷船尾部とB船の船首部とが衝突した。</p>	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北、風力 3	
その他の事項	<p>A船の船尾に据え付けられていたクレーンのアームは、舷外に振り出された状態となっていた。</p> <p>B船は、本事故発生直前、A船のクレーンのアームとの接触を避ける動作を行っていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>A なし B あり</p> <p>A なし B なし</p> <p>A なし B なし</p> <p>B船は、京浜港横浜第5区において、錨泊中のA船の舷外に振り出されていたクレーンのアームを避けながらA船から離れようとした際、B船の船首部とA船の右舷船尾部が衝突した可能性があると考えられる。</p> <p>船長Bは、A船の舷外に振り出されたクレーンのアームを避けることに注意を向けていたため、B船の船首部がA船の舷側に接近していることに気付かなかった可能性があると考えられる。</p>

原因	<p>本事故は、B船が、京浜港横浜第5区において、接舷していた錨泊中のA船から離れる際、船長Bが、A船の舷外に振り出されたクレーンのアームを避けることに注意を向けていたため、B船の船首部がA船の舷側に接近していることに気付かず、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------